

# 2025年度 一般社団法人 都留青年会議所

## 第1回 臨時総会次第

日時:2025年 3月 1日 (土) 19:00~20:00

場所:ホテル&amp;薬草風呂 スターらんど

1. 開会宣言
2. 国歌並びにJCソング斉唱
3. JCI Creed唱和
4. JCI Mission並びにJCI Vision唱和
5. JC宣言文朗読並びに綱領唱和
6. 関東地区宣言唱和
7. 理事長あいさつ
8. 直前理事長あいさつ
9. 報告依頼事項
  - 理事長
  - 直前理事長
  - 副理事長
  - 専務理事
  - 委員長
  - 関東地区出向者
  - 山梨ブロック出向者
  - その他
10. 議事資料の確認
11. 議長選出
12. 定足数の確認
13. 議事録作成人並びに署名人の指名
14. 新議事の採択
15. 議事
  - ※確認事項
    - 第1号議案 その他
  - ※審議事項
    - 第1号議案 2024年度 一般社団法人都留青年会議所 公益目的支出計画報告書 承認の件
    - 第2号議案 一般社団法人都留青年会議所 補正収支予算書(案) 承認の件
    - 第3号議案 一般社団法人都留青年会議所 地域創生委員会  
年間事業計画書予算書(案) 承認の件
    - 第4号議案 一般社団法人都留青年会議所 青少年育成委員会  
年間事業計画書予算書(案) 承認の件
    - 第5号議案 一般社団法人都留青年会議所 会員拡大委員会  
年間事業計画書予算書(案) 承認の件
    - 第6号議案 一般社団法人都留青年会議所 総務委員会  
年間事業計画書予算書(案) 承認の件
    - 第7号議案 その他
  - ※協議事項
    - 第1号議案 その他
16. 前回議事録の承認
17. 監事講評
18. 閉会宣言

# 公益目的支出実施計画報告書に関する監査報告書

一般社団法人 都留青年会議所  
理事長 奥秋 充裕 殿

私たちは、令和6年1月1日から令和6年12月31日までの令和6年度事業年度における公益目的支出実施計画報告書について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第127条第2項において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第124条第1項及び一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律施行規則第43条の規定に基づき、本報告書を作成し、以下の通り報告します。

## 1. 監査の方法及びその内容

私たちは、一般社団法人 都留青年会議所の令和6年度（令和6年1月1日から令和6年12月31日まで）の公益目的支出実施計画報告書に関して、理事長より報告書をもとに説明を受け、監査を行いました。

## 2. 監査意見

当法人の公益目的支出実施計画報告書は、法令及び定款に従いその内容は適正であることを認めます。

令和 7年 1月 28 日

監事 天野 さやか



監事 小林 聖



監事 武藤 孝典



# 監査報告書

一般社団法人 都留青年会議所  
理事長 奥秋 充裕 殿

私たちは、当会議所の令和6年1月1日から令和6年12月31日までの令和6年度の事業報告並びに計算書類について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項及び一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第36条及び第45条の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下の通り報告致します。

## 1. 監査の方法及び内容

私たちは、一般社団法人 都留青年会議所の令和6年度（令和6年1月1日から令和6年12月31日まで）の事業報告について、当会議所の主たる事務所において理事長より提出された報告書をもとに監査致しました。

また会計に関する資料の調査を行い、計算書類及びその付属明細書並びに財産目録等について監査致しました。

## 2. 監査の結果

事業報告書は、法令及び定款に従い、当会議所の状況を正しく示しているものと認めます。

また、計算書類及びその付属明細書並びに財産目録等は、当会議所の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和 7年 1月 28 日

監事 天野さやか 

監事 小林 聖 

監事 武藤 孝典 

**公益目的財産額、当該事業年度の末日における公益目的収支差額及び公益目的財産残額**

令和6年度(令和6年1月1日から令和6年12月31日まで)

単位:円

1. 公益目的財産額	6,433,647
2. 当該事業年度の公益目的収支差額	4,495,158
(1)前事業年度末日の公益目的収支差額	4,107,474
(2)当該事業年度の公益目的支出の額	417,684
(3)当該事業年度の実施事業収入の額	30,000
3. 当該事業年度末日の公益目的財産残額	1,938,489
4. 2の欄に記載した額が計画に記載した見込額と異なる場合、その概要及び理由	
<p>過去2年間新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業を中止せざるを得なかった事による。また、今年度においては、継1、継3事業については計画作成時点の見込みに比べ、公益目的支出の額が見込額と異なったためである。</p> <p>なお、公益目的支出計画の実施期間があと5年間である一方、公益目的収支差額の計画額との差額-210,842円であり、今後の実施事業の規模を鑑みても、実施期間には影響はない。</p>	

**公益目的支出計画の状況**

公益目的支出計画の完了予定事業年度の末日	(1)計画上の完了見込み	令和11年12月31日
	(2)(1)より早まる見込みの場合	

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計画	実績	計画	実績	計画
公益目的財産額	6,433,647	6,433,647	6,433,647	6,433,647	6,433,647
公益目的収支差額	4,344,000	4,107,474	4,706,000	4,495,158	5,068,000
公益目的支出の額	400,000	423,275	400,000	417,684	400,000
実施事業収入の額	38,000	38,100	38,000	30,000	38,000
公益目的財産残額	2,089,647	2,326,173	1,727,647	1,938,489	1,365,647

# 公益目的支出計画実施報告書

実施事業（継続事業）の状況等

事業番号	事業の内容
継 1	わんぱく相撲

## (1) 計画記載事項

事業の概要	
第1 事業趣旨等	継1事業については、都留青年会議所が対象とする地域の青少年に対し、礼儀を重んじる心と相手に対しての思いやりを持った心を育むことを望み青少年の健全な育成に寄与することを趣旨としている。
第2 事業の説明	わんぱく相撲
1) 事業内容	この事業は、都留市教育委員会、山梨県立谷村工業高校相撲部、相撲部OB会と連携し、都留青年会議所が対象とする地域の青少年に対し、市内の体育館においてわんぱく相撲を実施することにより、礼儀を重んじる心と相手に対しての思いやりを持つことの大切さを学ぶ機会を提供し、青少年の健全な育成に寄与することを目的としている。
2) 対象者	都留青年会議所が対象とする地域の幼児～小学校6年生 都留市教育委員会と連携し、チラシを用いて各小学校、保育園、幼稚園を通じて参加を呼びかけている。また、都留市広報誌への掲載、本青年会議所のホームページへの掲載等により、広く参加を呼びかけている。
3) 開催状況	平成22年度実績 日時：平成22年4月18日 場所：都留市立谷村第一小学校 参加人数：幼児～小学校6年生 81名 尚、この事業は平成元年から継続して行っている事業である。
第3 事業の財源	継1事業は、本青年会議所事業費のほか、参加者負担金及び都留市制祭協賛金を財源としている。
第4 令和6年度事業計画	3歳(園児)から1年生～6年生(小学生)を対象としたわんぱく相撲を開催する。 日時：令和6年5月26日(日) 場所：都留市立谷村第一小学校体育館 参加人数：幼児～小学6年生80名
(1) 当該事業に係る公益目的支出計画の見込額	200,000円
(2) 当該事業に係る公益実施事業収入の見込額	38,000円

(2) 当該事業年度の実施状況

3歳(園児)から1年生~6年生(小学生)を対象としたわんぱく相撲を開催した。その他詳細については別添事業報告書の通り。

令和6年度の実績

開催日：令和6年5月26日(日)

場所：都留市立谷村第一小学校体育館

参加人数：幼児~小学6年生90名

(1) 当該事業に係る公益目的支出計画の額	218,884 円
(2) 当該事業に係る公益実施事業収入の額	30,000 円
(3) ((1) - (2)) の額	188,884 円
(4) 当該事業に係る損益計算書の費用の額	218,884 円
(5) 当該事業に係る損益計算書の収益の額	30,000 円
(1) 及び (2) に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由	
(1) の金額が計画と異なるのは、参加記念品代などが計画と異なるためである。(2) については、選手の登録費用を徴収しなかったため異なるためである。	

# 公益目的支出計画実施報告書

実施事業（継続事業）の状況等

事業番号	事業の内容
継 2	献血

## (1) 計画記載事項

事業の概要	
第1 事業趣旨等	継2事業については、社会貢献活動である献血活動を通じ、地域住民の方々に献血の重要性を認識して頂き、献血に参加して頂くことを目的とする。
第2 事業の説明	献血 1) 事業内容 この事業は、都留市、都留市消防団、都留市商工会青年部、赤十字奉仕団に協力して頂き、献血を実施します。 2) 対象者 18歳以上の地域住民 都留市広報誌への掲載、チラシ、ポスター、都留青年会議所のホームページを通じて参加を呼びかけている。 3) 開催状況 平成22年度実績 日時：平成22年7月28日 場所：都留市役所駐車場 参加人数：194名 尚、この事業は昭和44年から継続して行っている事業である。
第3 事業の財源	継2事業は、本青年会議所事業費を財源としている。
第4 令和6年度事業計画	地域住民の方々と共に献血を開催する。 日時：令和6年7月26日（金） 場所：都留市役所駐車場 参加人数：185名
(1) 当該事業に係る公益目的支出計画の見込額	10,000円
(2) 当該事業に係る公益実施事業収入の見込額	0円

(2) 当該事業年度の実施状況

地域住民の方々と共に献血を開催した。その他詳細については、別添事業報告書の通り。

令和6年度の実績

開催日：令和6年7月26日（金）

場所：都留市役所駐車場

参加人数： 118名

(1) 当該事業に係る公益目的支出計画の額	10,000 円
(2) 当該事業に係る公益実施事業収入の額	0 円
(3) ((1) - (2)) の額	10,000 円
(4) 当該事業に係る損益計算書の費用の額	10,000 円
(5) 当該事業に係る損益計算書の収益の額	0 円
(1) 及び (2) に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由	

# 公益目的支出計画実施報告書

実施事業（継続事業）の状況等

事業番号	事業の内容
継 3	講師例会

## (1) 計画記載事項

事業の概要
<p>第1 事業趣旨等 継3事業は地域住民を対象とし、各界で活躍している方々を講師として招き、講演会を開催することにより、まちの活性化に寄与することを目的としている。</p> <p>第2 事業の説明 講師例会</p> <p>1) 事業内容 この事業は、地域住民を対象とし、各界で活躍している方々を講師として招き、講演会を開催することにより、まちの活性化に寄与することを目的としている。前述の通り、講師例会事業は、毎年、事業の内容に変更はあるものの、まちづくりを目的とした講演会等を行うことに変更はない。</p> <p>2) 対象者 地域住民（事業の内容によって、対象年齢を変更する場合がある） 都留市広報誌への掲載、チラシ、ポスター、都留青年会議所のホームページを通じて参加を呼びかけている。</p> <p>3) 開催状況 平成22年度実績 事業概要：講師にフリーアナウンサー、パーソナルカバリスト 戸川知恵氏を招き「初対面から良い感じ！」～見つけよう新しい自分の魅力～と題して、初対面から良い印象を他人に与える力を身につけるところを講演して頂いた。 日時：平成22年5月24日 場所：山梨県男女共同参画センター（ぴゅあ富士） 参加人数：103名</p> <p>平成21年度実績 事業概要：講師に在日ミャンマー人ジャーナリスト チョウチョウソー氏を招き、「家族とは」～ミャンマーからの気づき～と題して、日本とは異なる生活環境での家族に対する視点や考え方について、想いについて講演して頂いた。 日時：平成22年2月18日 場所：山梨県男女共同参画センター（ぴゅあ富士） 参加人数：85名 尚、同様な事業は本青年会議所設立から継続して行っている事業である。</p> <p>第3 事業の財源 継3事業は、本青年会議所事業費を財源としている。</p>

<p>第4 令和6年度事業計画</p> <p>中学生向けにお金の授業を開催する。</p> <p>都留市立都留第二中学校にてゆうちょ銀行さんの平林先生をお迎えして次世代を担う子どもたちが、学校教育を通じてお金の正しい知識を身に付けることができるよう1時間の授業の枠をいただき、お金の事業を行う。</p> <p>開催日：令和6年6月19日（水）</p> <p>場 所：都留市立都留第二中学校</p> <p>参加人数：149名</p>	
(1) 当該事業に係る公益目的支出計画の見込額	190,000 円
(2) 当該事業に係る公益実施事業収入の見込額	0 円

(2) 当該事業年度の実施状況

<p>中学生向けにお金の授業を開催した。</p> <p>都留市立都留第二中学校にてゆうちょ銀行さんの平林先生をお迎えして次世代を担う子どもたちが、学校教育を通じてお金の正しい知識を身に付けることができるよう1時間の授業の枠をいただき、お金の事業を行った。</p> <p>その他詳細については、別添事業報告書の通り。</p> <p>令6年度の実績</p> <p>開催日：令和6年6月19日（水）</p> <p>場 所：都留市立都留第二中学校</p> <p>参加人数：114名</p>	
(1) 当該事業に係る公益目的支出計画の額	188,800 円
(2) 当該事業に係る公益実施事業収入の額	0 円
(3) ((1) - (2)) の額	188,800 円
(4) 当該事業に係る損益計算書の費用の額	188,800 円
(5) 当該事業に係る損益計算書の収益の額	0 円
(1) 及び (2) に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由	
(1) の金額が計画と異なるのは、講師関係費などが計画と異なるためである。	

## 実施事業収入の額、公益目的支出の額

[実施事業(継続事業)の状況等]

事業番号	事業の内容
継1	わんぱく相撲

「実施事業収入の額の算定について」

単位:円

損益計算書の科目	①収益計算書の収益の額	②実施事業収入の額	②の額の算定に当たったの考え方
登録料収入	-	-	登録選手の保険料実費負担分
補助金収入	30,000	30,000	都留市市制祭協賛金より
	30,000	30,000	

「公益目的支出の額の算定について」

単位:円

損益計算書の科目	①収益計算書の費用の額	②公益目的支出の額	②の額の算定に当たったの考え方
その他	218,884	218,884	異なる費用科目はないため①と②は同額である
	218,884	218,884	

### 実施事業収入の額、公益目的支出の額

[実施事業(継続事業)の状況等]

事業番号	事業の内容
継2	献血

「実施事業収入の額の算定について」

単位:円

損益計算書の科目	①収益計算書の収益の額	②実施事業収入の額	②の額の算定に当たっての考え方
	0	0	

「公益目的支出の額の算定について」

単位:円

損益計算書の科目	①収益計算書の費用の額	②公益目的支出の額	②の額の算定に当たっての考え方
その他	10,000	10,000	異なる費用科目はないため①と②は同額である
	10,000	10,000	

## 実施事業収入の額、公益目的支出の額

[実施事業(継続事業)の状況等]

事業番号	事業の内容
継3	講師例会

「実施事業収入の額の算定について」

単位:円

損益計算書の科目	①収益計算書の収益の額	②実施事業収入の額	②の額の算定に当たっての考え方
	0	0	

「公益目的支出の額の算定について」

単位:円

損益計算書の科目	①収益計算書の費用の額	②公益目的支出の額	②の額の算定に当たっての考え方
その他	188,800	188,800	異なる費用科目はないため①と②は同額である
	188,800	188,800	

貸借対照表

令和6年12月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,922,365	1,875,224	47,141
流動資産合計	1,922,365	1,875,224	47,141
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
土地	1,450,000	1,450,000	0
建物	1	1	0
什器備品	604,747	376,289	228,458
電話加入権	70,000	70,000	0
その他の固定資産合計	2,124,748	1,896,290	228,458
固定資産合計	2,124,748	1,896,290	228,458
資産合計	4,047,113	3,771,514	275,599
II 負債の部			
1. 流動負債			
仮受金	80,000	0	80,000
流動負債合計	80,000	0	80,000
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	80,000	0	80,000
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(2) その他一般正味財産	3,967,113	3,771,514	195,599
一般正味財産	3,967,113	3,771,514	195,599
正味財産合計	3,967,113	3,771,514	195,599
負債及び正味財産合計	4,047,113	3,771,514	275,599

貸借対照表内訳表

令和6年12月31日現在

(単位：円)

科 目	継1 わんぱく相撲	継2 献血	継3 講師例会	実施事業会計	他1 卒業式	他2 4LOM例会	他3 2月例会
I 資産の部							
1. 流動資産							
現金預金	0	0	0	0	0	0	0
流動資産合計	0	0	0	0	0	0	0
2. 固定資産							
(1) 基本財産							
基本財産合計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 特定資産							
特定資産合計	0	0	0	0	0	0	0
(3) その他固定資産							
土地	0	0	0	0	0	0	0
建物	0	0	0	0	0	0	0
什器備品	0	0	0	0	0	0	0
電話加入権	0	0	0	0	0	0	0
その他の固定資産合計	0	0	0	0	0	0	0
固定資産合計	0	0	0	0	0	0	0
資産合計	0	0	0	0	0	0	0
II 負債の部							
1. 流動負債							
仮受金	0	0	0	0	0	0	0
流動負債合計	0	0	0	0	0	0	0
2. 固定負債							
固定負債合計	0	0	0	0	0	0	0
負債合計	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産の部							
1. 指定正味財産							
指定正味財産合計	0	0	0	0	0	0	0
2. 一般正味財産							
(2) その他一般正味財産	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産	0	0	0	0	0	0	0
正味財産合計	0	0	0	0	0	0	0
負債及び正味財産合計	0	0	0	0	0	0	0

貸借対照表内訳表

令和6年12月31日 現在

(単位：円)

科 目	他4 8月例会	他5 9月例会	他6 10月例会	その他会計	法人会計	合計
I 資産の部						
1. 流動資産						
現金預金	0	0	0	0	1,922,365	1,922,365
流動資産合計	0	0	0	0	1,922,365	1,922,365
2. 固定資産						
(1) 基本財産						
基本財産合計	0	0	0	0	0	0
(2) 特定資産						
特定資産合計	0	0	0	0	0	0
(3) その他固定資産						
土地	0	0	0	0	1,450,000	1,450,000
建物	0	0	0	0	1	1
什器備品	0	0	0	0	604,747	604,747
電話加入権	0	0	0	0	70,000	70,000
その他の固定資産合計	0	0	0	0	2,124,748	2,124,748
固定資産合計	0	0	0	0	2,124,748	2,124,748
資産合計	0	0	0	0	4,047,113	4,047,113
II 負債の部						
1. 流動負債						
仮受金	0	0	0	0	80,000	80,000
流動負債合計	0	0	0	0	80,000	80,000
2. 固定負債						
固定負債合計	0	0	0	0	0	0
負債合計	0	0	0	0	80,000	80,000
III 正味財産の部						
1. 指定正味財産						
指定正味財産合計	0	0	0	0	0	0
2. 一般正味財産						
(2) その他一般正味財産	0	0	0	0	3,967,113	3,967,113
一般正味財産	0	0	0	0	3,967,113	3,967,113
正味財産合計	0	0	0	0	3,967,113	3,967,113
負債及び正味財産合計	0	0	0	0	4,047,113	4,047,113

正味財産増減計算書

令和6年1月1日から令和6年12月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増	減
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取入会金	40,000	60,000	△	20,000
受取入会金	40,000	60,000	△	20,000
受取会費	2,830,000	2,750,000		80,000
正会員受取会費	2,340,000	2,210,000		130,000
特別会員受取会費	40,000	40,000		0
賛助会員受取会費	450,000	500,000	△	50,000
登録料収入	0	8,100	△	8,100
登録料収入	0	8,100	△	8,100
補助金等収入	0	0		0
受取負担金	0	0		0
受取寄付金	39,172	30,000		9,172
受取寄付金	39,172	30,000		9,172
雑収益	50,102	280,150	△	230,048
受取利息	102	13		89
雑収益	50,000	226,137	△	176,137
預り金収入	0	54,000	△	54,000
経常収益計	2,959,274	3,128,250	△	168,976
(2) 経常費用				
事業費	1,276,524	1,308,362	△	31,838
会場費	37,290	11,740		25,550
会場設営費	316,959	487,054	△	170,095
参加記念品代	386,600	167,388		219,212
広告費	111,210	130,675	△	19,465
消耗品費	169,400	1,066		168,334
印刷費	0	13,200	△	13,200
賃借料	0	22,000	△	22,000
保険料	10,500	9,500		1,000
講師費用	242,200	245,000	△	2,800
材料費	0	57,800	△	57,800
雑費	2,365	162,939	△	160,574
管理費	1,487,151	1,967,826	△	480,675
会議費	20,000	19,800		200
通信運搬費	126,658	149,726	△	23,068
消耗品費	105,638	136,048	△	30,410
インフォメーション関係費	3,168	8,486	△	5,318
光熱水料費	78,179	88,771	△	10,592
保険料	63,790	63,270		520
租税公課	54,310	54,710	△	400
支払負担金	652,086	823,445	△	171,359
支払手数料	131,890	131,890		0
渉外費	0	62,763	△	62,763
減価償却費	156,542	250,862	△	94,320
雑費	94,890	178,055	△	83,165
経常費用計	2,763,675	3,276,188	△	512,513
評価損益調整前経常増減額	195,599	△ 147,938		343,537
基本財産評価損益等	0	0		0
特定資産評価損益等	0	0		0
投資有価証券評価損益等	0	0		0
当期経常増減額	195,599	△ 147,938		343,537
2. 経常外増減の部				

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	195,599	△ 147,938	343,537
一般正味財産増減額	195,599	△ 147,938	343,537
一般正味財産期首残高	3,771,514	3,919,452	△ 147,938
一般正味財産期末残高	3,967,113	3,771,514	195,599
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	0	0
受取負担金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
III 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	3,967,113	3,771,514	195,599

正味財産増減計算書内訳表

令和6年1月1日から令和6年12月31日まで

(単位:円)

科 目	継1 わんぱく相撲	継2 献血	継3 講師例会	実施事業会計	他1 卒業式	他2 4LOM例会	他3 2月例会
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
受取入金	0	0	0	0	0	0	0
受取入金	0	0	0	0	0	0	0
受取会費	0	0	0	0	0	0	0
正会員受取会費	0	0	0	0	0	0	0
特別会員受取会費	0	0	0	0	0	0	0
賛助会員受取会費	0	0	0	0	0	0	0
登録料収入	0	0	0	0	0	0	0
補助金等収入	0	0	0	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0	0	0
受取利息	0	0	0	0	0	0	0
雑収益	0	0	0	0	0	0	0
経常収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常費用							
事業費	218,884	10,000	188,800	417,684	309,520	10,000	48,990
会場費	0	0	0	0	0	0	23,760
会場設営費	122,569	0	10,000	132,569	45,250	10,000	0
参加記念品代	65,520	10,000	172,800	248,320	94,320	0	20,470
広告費	10,495	0	0	10,495	0	0	0
消耗品費	0	0	0	0	169,400	0	0
保険料	9,500	0	0	9,500	0	0	0
講師費用	10,800	0	6,000	16,800	0	0	4,320
雑費	0	0	0	0	550	0	440
管理費	0	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0
インフォメーション関係費	0	0	0	0	0	0	0
光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0
保険料	0	0	0	0	0	0	0
租税公課	0	0	0	0	0	0	0
支払負担金	0	0	0	0	0	0	0
支払手数料	0	0	0	0	0	0	0

(単位：円)

科 目	継1 わんぱく相撲	継2 献血	継3 講師例会	実施事業会計	他1 卒業式	他2 4LOM例会	他3 2月例会
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0	0	0
経常費用計	218,884	10,000	188,800	417,684	309,520	10,000	48,990
評価損益調整前経常増減額	△ 218,884	△ 10,000	△ 188,800	△ 417,684	△ 309,520	△ 10,000	△ 48,990
当期経常増減額	△ 218,884	△ 10,000	△ 188,800	△ 417,684	△ 309,520	△ 10,000	△ 48,990
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
(2) 経常外費用							
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	218,884	10,000	188,800	417,684	309,520	10,000	48,990
他会計振替額	218,884	10,000	188,800	417,684	309,520	10,000	48,990
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0
II 指定正味財産増減の部							
III 正味財産期末残高							
正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0
前期繰越収支差額	0	0	0	0	0	0	0
前期繰越収支差額	0	0	0	0	0	0	0

正味財産増減計算書内訳表  
令和6年1月1日から令和6年12月31日まで

(単位：円)

科 目	他4 8月例会	他5 9月例会	他6 10月例会	その他会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
受取入会金	0	0	0	0	40,000	40,000
受取入会金	0	0	0	0	40,000	40,000
受取会費	0	0	0	0	2,830,000	2,830,000
正会員受取会費	0	0	0	0	2,340,000	2,340,000
特別会員受取会費	0	0	0	0	40,000	40,000
賛助会員受取会費	0	0	0	0	450,000	450,000
登録料収入	0	0	0	0	0	0
補助金等収入	0	0	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0	39,172	39,172
受取寄付金	0	0	0	0	39,172	39,172
雑収益	0	0	0	0	50,102	50,102
受取利息	0	0	0	0	102	102
雑収益	0	0	0	0	50,000	50,000
経常収益計	0	0	0	0	2,959,274	2,959,274
(2) 経常費用						
事業費	148,683	165,092	176,555	858,840	0	1,276,524
会場費	3,850	9,680	0	37,290	0	37,290
会場設営費	15,000	8,000	106,140	184,390	0	316,959
参加記念品代	0	0	23,490	138,280	0	386,600
広告費	32,978	21,812	45,925	100,715	0	111,210
消耗品費	0	0	0	169,400	0	169,400
保険料	0	0	1,000	1,000	0	10,500
講師費用	95,480	125,600	0	225,400	0	242,200
雑費	1,375	0	0	2,365	0	2,365
管理費	0	0	0	0	1,487,151	1,487,151
会議費	0	0	0	0	20,000	20,000
通信運搬費	0	0	0	0	126,658	126,658
消耗品費	0	0	0	0	105,638	105,638
インフォメーション関係費	0	0	0	0	3,168	3,168
光熱水料費	0	0	0	0	78,179	78,179
保険料	0	0	0	0	63,790	63,790
租税公課	0	0	0	0	54,310	54,310
支払負担金	0	0	0	0	652,086	652,086
支払手数料	0	0	0	0	131,890	131,890

科 目	他4 8月例会	他5 9月例会	他6 10月例会	その他会計	法人会計	合計
減価償却費	0	0	0	0	156,542	156,542
雑費	0	0	0	0	94,890	94,890
経常費用計	148,683	165,092	176,555	858,840	1,487,151	2,763,675
評価損益調整前経常増減額	△ 148,683	△ 165,092	△ 176,555	△ 858,840	1,472,123	195,599
当期経常増減額	△ 148,683	△ 165,092	△ 176,555	△ 858,840	1,472,123	195,599
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
(2) 経常外費用						
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	148,683	165,092	176,555	858,840	△ 1,276,524	0
他会計振替額	148,683	165,092	176,555	858,840	△ 1,276,524	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	195,599	195,599
一般正味財産増減額	0	0	0	0	195,599	195,599
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	3,771,514	3,771,514
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	3,967,113	3,967,113
II 指定正味財産増減の部						
III 正味財産期末残高						
正味財産期末残高	0	0	0	0	3,967,113	3,967,113
前期繰越収支差額	0	0	0	0	3,771,514	3,771,514
前期繰越収支差額	0	0	0	0	3,771,514	3,771,514

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
該当なし
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
該当なし
- (3) 固定資産の減価償却方法  
法人税法に基づき、建物については定額法、器具及び備品については定率法によっている。
- (4) 引当金の計上基準  
該当なし
- (5) リース取引の処理方法  
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンスリース取引について通常の賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によっている。
- (6) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。
- (7) 税効果会計の適用について  
該当なし

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

該当なし

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

該当なし

5. 担保に供している資産

該当なし

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高（直接法により減価償却を行っている場合）

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

（単位：円）

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	7,764,566	7,764,565	1
器具及び備品	1,033,773	429,026	604,747
合 計	8,798,339	8,193,591	604,748

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残（貸倒引当金を直接控除した残高のみを記載した場合）

該当なし

8. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務

該当なし

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

一般社団法人 都留青年会議所

10. 補助金等の内訳ならびに交付者、当期の増減額及び残高

該当なし

11. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

該当なし

12. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当なし

13. 関連当事者との取引の内容

該当なし

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

14. 重要な後発事象

該当なし

## 付属明細書

### 1. 基本財産および特定資産の明細

「公益法人会計基準」の運用指針（平成 20 年 4 月 11 日 内閣府公益認定等委員会）に定める付属明細書記載上の留意事項に従い、財務諸表の注記 3 及び 4 に記載していますので、内容の記載を省略します。

### 2. 引当金の明細

「公益法人会計基準」の運用指針（平成 20 年 4 月 11 日 内閣府公益認定等委員会）に定める付属明細書記載上の留意事項に従い、財務諸表の注記 2（4）に記載していますので、内容の記載を省略します。

財 産 目 録

令和 6 年 12 月 31 日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金		運転資金として	520,144
	普通預金 山梨中央銀行	NO. 618722	運転資金として	224,998
	普通預金 都留信用組合	NO. 854724	運転資金として	341,916
	普通預金 山梨中央銀行	NO. 838466	運転資金として	835,307
流動資産合計				1,922,365
(固定資産)	基本財産			
	特定資産			
	その他固定資産			
	土地	都留市下谷978-4、他	管理業務で使用している	1,450,000
	建物	都留市下谷4-5-8	管理業務で使用している	1
	器具及び備品	複合機	管理業務で使用している	246,535
		エアコン	管理業務で使用している	358,212
	電話加入権	0554-45-7060	管理業務で使用している	70,000
固定資産合計				2,124,748
資産合計				4,047,113
(流動負債)	仮受金			80,000
流動負債合計				80,000
(固定負債)				
固定負債合計				
負債合計				80,000
正味財産				3,967,113

公益目的保有財産の明細

財産種別	公益認定前取得 不可欠特定財産	公益認定後取得 不可欠特定財産	その他の 公益目的保有財産	使用事業
合計				

## 事業報告書

ファイル名	5月例会事業報告書_20240912 理S
事業名	風の子興譲館 第33回わんぱく相撲つる場所
委員会名	青少年・広報委員会
副理事長名	渡辺 佳菜
委員長名	斉藤 朱貴也
文書作成日	斉藤 朱貴也

審議	監事会計確認印		
	監事	監事	監事
	印	印	印
副理事長確認日	2024年9月11日		
委員長確認日	2024年9月11日		
文書作成日	2024年9月11日		

## 1. 事業結果報告

## ① 実施日時と会場について

実施日	実施時間	会場
2024年5月26日(日)	8:00 ~ 13:30	都留市立谷村第一小学校体育館

## ② 実施事業内容(実施した事業について簡単に記載して下さい)

- ・3歳～小学校6年生を対象としたわんぱく相撲を開催しました。
- ・教育機関へチラシを配布しました。
- ・事前準備は前日16時より都留市立谷村小学校体育館にて土俵と掲示物、トーナメント表の準備を実施しました。
- ・各団体への協力依頼  
青藍幼稚園に土俵をお借りしました。
- 山梨県立都留興譲館高校相撲部OB会による相撲教室、試合進行をしていただきました。
- 健康科学大学看護科学科による応急処置体制を整えていただきました。

参考: わんぱく相撲 実施タイムスケジュール表  
わんぱく相撲 タイムスケジュール表(計画時)

## 山梨ブロック大会について

- ・6月1日(土)に実施しました。
  - ・4、5、6年生の都留、笛吹での各代表を集め忍野村国体記念土俵にて山梨ブロック代表戦を行いました。
  - ・10:30 選手現地集合、11:20頃試合、その後表彰式というスケジュールでした。
- 参考: 中学生の県大会 9:30 集合 10:00 開始(ネット情報を事前確認しました。)

## 全国大会について

- ・8月4日(日)に実施しました。
- ・東京の両国国技館で開催されたわんぱく相撲全国大会に参加しました。

※年間事業計画書・予算書のハイパーリンクを貼って下さい。

[年間事業計画書予算書](#)

## ③ KPI 達成率

KPI 設定内容	KPI 達成率
子どもの参加者 80 名を目標とします	90 名 113%
対外アンケートにより挑戦する気持ちを高めることができたという回答 70%	89%

対内アンケートにより挑戦していく人を応援する気持ちを高めることができたという回答 70%	93%
--	-----

参考:

子ども・保護者 アンケート結果

会員 アンケート結果

**④ 動員推進結果**

対象者/対象団体	動員目標人数	動員実績人数	目標達成率
一般参加者（子ども）	80 名	90 名	113 %
一般参加者（保護者）	80 名	135 名	169 %
谷村高校都留興譲館高校相撲部 OB 会	10 名	10 名	100 %
都留興譲館高等学校相撲部	10 名	0 名	0 %
健康科学大学	3 名	5 名	167 %
一般社団法人 都留青年会議所 正会員	28 名	15 名	54 %
一般社団法人 都留青年会議所 監事会員	3 名	3 名	100 %
オブザーバー	3 名	0 名	0 %
合計	217 名	258 名	119 %

※保護者の数は正確な集計が不可能なため、参加者子どもに 1.5 をかけて算出しています。

参考 学年別申込者数、地域別申込者数

**⑤ 事業計画収支決算書**

予算総額	決算総額
222,000 円	218,884 円

※予算書と決算書のハイパーリンクを貼って下さい。

**⑥ 事業目的に対する結果について(目的達成度を簡潔に記入して下さい。)**

<p>&lt;目的&gt; わんぱく相撲を通じ、挑戦をしてみる気持ちを高めることで、子ども達の可能性を広げる。</p> <p>&lt;結果&gt; ・子どもの参加者 80 名という目標に対して、結果 90 名(113%)の動員をすることができ、過去 10 年の中では最多水準の子ども達に参加いただくことができた。</p> <p>・対外アンケートにより挑戦する気持ちを高めることができたという回答 70%という目標に対して、89%という結果でした。今回のわんぱく相撲を通じて、参加していただいたほとんどの子どもの挑戦する気持ちを高めることができたと考えます。</p> <p>・対内アンケートにより挑戦していく人を応援する気持ちを高めることができたという回答 70%という目標に対して、93%という結果でした。今回のわんぱく相撲を通じて、ほとんどの会員は子ども達の挑戦を支援することで、挑戦する気持ちを高めることにつながったと考えます。</p> <p>&lt;分析&gt; ・参加者が多かった要因を考えると、西桂町にチラシを配布したこと、参加可能エリアを郡内に広げたことは、参加者増の一助であったと考えられます。参加者のうち西桂町が 7%、西桂町を含まない郡内エリアが 13%であり、合計すると 20%が市外からの参加者でした。</p> <p>・富士五湖青年会議所がわんぱく相撲を開催しなくなっているため、そのエリアでも参加ニーズがある可能性があります。</p> <p>・本年はチラシを東京青年会議所のデザインを使わず、独自で作成しました。相撲に対する本気度が高すぎるものはかえって参加しにくくなる場合もありますので、検討ください。</p>
--

参考 学年別申込者数、地域別申込者数

参考:4、5、6年生の優勝者

- 4年生 堀内 泰利(ほりうち たいり)君 谷村第一小学校
- 5年生 瀧口 幸之介(たきぐち こうのすけ)君 忍野小学校
- 6年生 堀内 泰克(ほりうち たいか)君 谷村第一小学校

参考:山梨ブロック大会 優勝者

- 5年生 瀧口 幸之介(たきぐち こうのすけ)君 忍野小学校

参考:全国大会 結果

- 5年生 瀧口 幸之介(たきぐち こうのすけ)君、1回戦勝利、2回戦敗退。

※事業計画書のハイパーリンクを貼って下さい。

### ⑦事業実施上の振り返り

#### ■良かったこと(箇条書きで記入して下さい。)

##### 【申込に関して】

- ・FAX、電話での申込を廃止し、フォームでの申込みとしました。申込に関するミスの発生確率をかなり下げることができました。また廃止したことによる申込の減少もありませんでした。
- ・申込を2日前としたため、前日にトーナメント表を記載し、設置しておくことができスムーズな進行ができました。なお、申込のない当日参加者は3名程度でした。一方で、当日にトーナメント表を一から作れたかという時間的に難しく、またミスも起こりやすい状態であり、来年以降も基本的には前日までに作成し当日参加者を追加する方法が望ましいと考えます。
- ・参加者増の一要因として、都留市外の郡内地域にお住まいの子どもを参加可能としました。結果 20%が市外からの参加者でした。

##### 【当日】

- ・過去最多水準の方に参加いただけました。
- ・参加者アンケート結果より、わんぱく相撲が楽しかったという回答が96%であり、ほとんどの方には楽しんでいただけました。(なお、残り4%は未回答)
- ・会員アンケート結果より、事前準備ができていたこと、当日のスムーズな進行ができていたことを評価いただきました。
- ・会員アンケート結果より、多くの方に参加いただき、活気があったことを評価いただきました。
- ・事前に作成していたため、トーナメント進行上の大きなミスはありませんでした。(保護者アンケートで、次戦の待機のアナウンスがなく準備が遅れてしまったという回答が1件ありました)

#### ■課題(箇条書きで記入して下さい。)

- ・試合に負けた子どもが帰ってしまうのを防ぐことを重視するのであれば、食事以外にも残ってもらう手立てが必要だと思います。ただし、それは主催者のエゴであるとも考えられます。一方で、帰られる方へアンケートの依頼をする必要はあるように思います。
- ・セレモニーと受付との時間が短すぎ、セレモニー中に参加者が来てしまった。

##### 【会員アンケートより】

- ・進行については、できるだけ多くの人数が必要であり、かつどのように動けばよいか周知しておく必要があるという意見がありました。
- ・タイムスケジュールが前倒しになった場合や、そうならないようなタイムスケジュールの予想が必要だと考えられます。例年、前倒しになる場合が多くありますので、試合の実施時間を短く見積もりなおす必要があります。なお、本年度は10:15には全ての試合が終了していました。これは1時間35分も計画より早まっています。
- ・体の大きい子に対して、マイティーパンツが入らないことがあるため、対策を講じる必要があります。今年度は山梨ブロック大会時に使用する予定だったまわしを使ってもらいました。
- ・予算がもう少しあれば、各種発展性があると思われます。スタッフTシャツを作る、お菓子つかみ取り、全国大会の予算に回すなどが検討できるかと思います。

【参加者アンケートより】

- ・もっと試合をしたかったという意見がありました。
- ・ボールの使用禁止やステージ上に乗ってはいけないことを伝え、守ってもらえるとよいと思いますという意見がありました。

参考:

子ども・保護者 アンケート結果

会員 アンケート結果

【山梨ブロック大会】

- ・都留青年会議所関係者により、子ども達にまわしを巻けることが求められます。事前に人員の手配ができていませんでした。
- ・本年準備をいただいた笛吹青年会議所側の不備とはなりますが、渡す賞状に印刷不備がありました。

■事業の実施による地域への影響や今後の展望(会員拡大を含む)

- ・アンケート結果から、わんぱく相撲は地域での認知度が高く、今回は参加者の満足度も高い結果となりました。このような積み重ねにより都留青年会議所の活動の社会的意義や認知度が高まっていくものであると考えられます。
- ・継続開催していることにより、参加者を集めやすい事業であると考えられます。

⑧次年度への引継ぎ事項(箇条書きで記入して下さい。)

- ・タイムスケジュールを見直し、試合時間を短くすることを検討してください。
- ・セレモニーと受付の時間が短すぎるため、セレモニーの開始時間を早めてください。
- ・体の大きい子に対して、マイティーパンツが入らないことがあるため、対策を講じてください。対策の一例としては、まわしをいくつか購入してしまう方法があります。他の方法を含めて検討してください。
- ・参加者はチラシによる周知により事業を認知しています。配るタイミングやデザインを検討してください。なお、今年は事業実施日の2週間前頃に配布しました。
- ・チラシは東京青年会議所のデザインを使うことは必須ではありませんので、独自デザインで作成することも検討ください。
- ・チラシデザインで、4、5、6年生で女子が優勝した場合の案内が漏れていたため、記載するようにしてください。
- ・ポスターは例年各 LOM へ配布されていましたが、本年はありませんでした。計画時において、東京青年会議所へ問合せ確認するようにしてください。
- ・看板や目印、印刷物などを増やし、誘導の効率化や安全に対する対策を高めてください。
- ・計画書では、1 回戦は 2 勝先取となっていたが、メンバーに進行を徹底できなかった。当日用のメンバー向けの進行説明書のようなものが必要だと思います。検討ください。
- ・賞状は君ではなく、殿の方がよいと思いますので、検証して変更を検討ください。
- ・賞状への名前の記載については、字がとてもうまい必要は必ずしもありませんが、ある程度うまいことは求められますので、事前に担当者を割り振ってください。

【山梨ブロック大会】

- ・都留青年会議所の子ども達に対して、都留青年会議所関係者がまわしを巻けることが求められます。必ず人員を手配するようにしてください。なお、笛吹青年会議所の相撲関係者には当日断られているという経緯もあります。
- ・子ども達に渡す賞状などについて、不備が無い様に事前に多くの目で確認してください。
- ・10:30 集合でも問題はありませんでした。中学生の県大会の進行が早まることもありますので、10:00 集合にした方がよいかもしれません。検討してみてください。また、前提条件として、来年も同様の大会と併せて実施する場合は、中学生の県大会のタイムスケジュールを確認してください。

参考:

子ども・保護者 アンケート結果

会員 アンケート結果

## ⑨ 委員長所見

皆様のおかげで第 33 回風の子興譲館わんぱく相撲を無事に終えることができました。入会して初めて委員長を任せ、このように大きな事業を皆様と達成できた喜びはとてつもなく大きく、感謝しています。本当にありがとうございました。本番に向けて準備してきましたが、当日は多くの参加者が集めることができました。また、アンケートなどからもほとんどの方に楽しんでいただくことができた、約 9 割の方に挑戦する気持ちを持つことができたこととあり、これまで時間をかけてきたことが、むくわれたように感じました。振り返ってもわからないことだらけで大変だと感じることも多くありましたが、人として心から生きがいのある事業を担当でき、生涯において貴重な思い出となりました。皆様、ご協力ありがとうございました。

## 2. 事業実施後のスケジュール

会議数	開催日	委員会及び事業関係活動内容	備考
第 1 回	2024 年 5 月 28 日	事業計画書作成	委員会
第 2 回	2024 年 6 月 1 日	山梨ブロック大会の開催	
第 3 回	2024 年 6 月 4 日	事業計画書作成	委員会
第 4 回	2024 年 7 月 31 日	全国大会準備	委員会
第 5 回	2024 年 8 月 4 日	全国大会への参加	
第 6 回	2024 年 8 月 10 日	事業計画書作成	委員会
第 6 回	2024 年 8 月 23 日	事業計画書作成	委員会
第 6 回	2024 年 9 月 6 日	事業計画書作成	委員会
第 6 回	2024 年 9 月 10 日	事業計画書作成	委員会

## 3. 議案上程スケジュール

事業報告/決算			
回数	諸会議名	開催日	議事
第 8 回	三役会	2024 年 8 月 29 日	
第 8 回	理事会	2024 年 9 月 12 日	

## 4. 審議対象資料

※ハイパーリンクを貼ってください

1. わんぱく相撲 決算書
2. こども・保護者 アンケート結果
3. 会員 アンケート結果
4. 5 月例会領収書綴り

## 5. 審議対象外資料

※ハイパーリンクを貼ってください

01. 年間事業計画書・予算書
02. 5 月例会事業計画書
03. 5 月例会予算書
04. 学年別参加申込書兼同意書
05. 学年別申込者数
06. 地域別申込者数
07. わんぱく相撲 実施タイムスケジュール表
08. 参考 わんぱく相撲 タイムスケジュール表(計画時)
09. 5 月例会 実施役割分担表
10. 都留市・西柱町 小学校 学校別児童数

2024 年度 一般社団法人 都留青年会議所 

11. 都留市・西桂町 幼稚園保育園 児童数

12. 後援報告書(都留市宛)

-以上-

## 事業報告書

ファイル名	7月例会事業報告書 20240912-理S
事業名	いのちをつなぐ献血事業
委員会名	総務委員会
専務理事名	荻原 照仁
委員長名	中野 雅基
文書作成者名	中野 雅基

審議	監事会計確認印					
	監事	監事	監事			
	印	印	印			
専務理事確認日	2024	年	9	月	12	日
委員長確認日	2024	年	9	月	12	日
文書作成日	2024	年	9	月	12	日

## 1. 事業結果報告

## ① 実施日時と会場について

実施日	実施時間	会場
2024年7月26日(金)	8:10 ~ 16:17	都留市役所 駐車場

## ② 実施事業内容(実施した事業について簡単に記載して下さい)

## ■ 事業計画の概要

日本赤十字社 山梨支部主導のもと献血車を都留市役所に配置し献血を行います。また、都留市役所、都留市消防団、都留市商工会青年部と協力し都留市内で幅広く広報活動を行い多くの方に献血をしていただきました。

## ③ KPI 達成率

KPI 設定内容	KPI 達成率
・10-30代の献血者 40%以上	100%
・参加者アンケート⑦ラブラットを登録したいかどうか。において はい 80%以上	64%

## ④ 動員推進結果(目的達成度は小数点第1位まで)

対象者/対象団体	動員目標人数	動員実績人数	目標達成率
一般参加者	140 名	91 名	65.0 %
都留青年会議所_シニアクラブ会員	7 名	3 名	42.0 %
都留青年会議所_賛助会員	4 名	3 名	75.0 %
一般社団法人 都留青年会議所_正会員	29 名	19 名	65.5 %
一般社団法人 都留青年会議所_監事会員(内部)	0 名	0 名	00.0 %
一般社団法人 都留青年会議所_監事会員(外部)	3 名	2 名	66.7 %
オブザーバー	2 名	0 名	00.0 %
合計	185 名	118 名	63.3 %

## ⑤ 事業計画収支決算書

予算総額	決算総額
10,000 円	10,000 円

## ⑥ 事業目的に対する結果について(目的達成度を簡潔に記入して下さい。)

(対外)

目的

・若い世代が継続的な献血を行うきっかけとしていただく。

**結果**

今回の参加者は合計 97 名で 10 代 3 名、20 代 12 名、30 代 24 名。合計 39 名が参加してくださいました。参加率も 40% 達成したため献血をするきっかけになったと考えます。ただ、継続的な献血をするという点ではラブラット未登録者 34 名中 13 名 (38%) がラブラットへの登録はしなくてもよい。という結果になったことから、この点は未達成となりました。

**(対内)**

**目的**

・献血を通して他団体とのつながりをつくっていく。

**結果**

他団体とのつながりという点は未達成だと考えます。

例年通り消防、商工会青年部とは変わらずかかわりが持てたと思いますが、そのほかの団体とはつながりをつくることはできませんでした。

**⑦事業実施上の振り返り**

**■良かったこと(箇条書きで記入して下さい。)**

- ・都留青年会議所メンバーが参加して下さるので、会場準備も含めてスムーズな進行できました。、
- ・目標としていた若い世代の参加者がいることが可視化できました。

**■課題(箇条書きで記入して下さい。)**

- ・若年層へのアプローチの仕方をもう少し考える必要があります。
- ・都留市役所では距離があるため、学生などの若年層の参加しやすい場所の検討が必要です。
- ・高校は夏休みに入っているためか、参加者がゼロだったため、こちらも場所及び開催日時の調整が必要。
- ・他団体との事業実施ができなかったため、既存の団体以外の団体と事業を行う際には、密なコミュニケーションをとって実施をするべきでした。
- ・継続的な献血を促すためにラブラットや献血をする目的や意味をもう少し分かりやすく伝えていく必要があると思いました。今回は動画を再生し、待ち時間に見てもらおうように促しましたが少し効果が薄かったかもしれません。
- ・参加者が例年に比べ少ない状況でした。理由は下記のとおりです。
- ① 金曜日の開催、例年週の半ばに開催をしていましたが、今年は月末の金曜日と献血をするお勤めの方も忙しい時期にあたってしまい、積極的な参加を促すことができなかった。
- ② 積極的な案内ができていなかった。委員長自ら企業への訪問などアプローチができていなかった。

**■事業の実施による地域への影響や今後の展望(会員拡大を含む)**

本事業を継続的に行う事で献血の大切さを知ることができ自分の行動が周りの人、地域など誰かのためになるという経験して、その結果、自分の住む地域のことなどにも自分の事として考えるきっかけになると考えました。

**⑧次年度への引継ぎ事項(箇条書きで記入して下さい。)**

- ・他団体と協力して行う事業は早い段階から細かいところまで協議を行ってください。
- ・つるビーの着ぐるみは広告になると思われましたが、7 月の猛暑の中では利用ができないためおすすめしません。
- ・実施日は月末金曜日を避けて実施をした方が良い。
- ・集客計画をつくるために、チラシやポスターの配布計画をつくったほうが良い。
- ・継続的な献血を促すために参加者に献血の目的や意味を伝えるために工夫が必要です。

**⑨委員長所見**

今回、初めて自ら計画した献血事業に関わらせていただきました。

事業を行うにあたって、改めて献血の大切さを改めて知ることができ、この機会を多くの人に知ってもらう事が大切だなと感じました。調べると若年層の献血離れが顕著に数値に出ているという事がわかり、都留市でも 10-30 代までの献血人口がどれくらいいるのかを知りたいなという事で、今回若年層をターゲットにして事業を計画させていただきました。また、青年会議所として『献血を通じての他の団体との交流』も今回の課題だったため、健康科学大学と調整を試みましたが、学生も授業などのスケジュールなどとの調整が難しく実現しませんでした。事前の調整がもう少ししっかりできていれば大学側からご協力いただくこともできたので次回以降に実現していただきたいと期待しております。青年会議所の献血事業も予算もあり、参加者を爆発的に多くするのは難しいです。なので、我々が行う事としては関わる人を増やしていき、献血の

大切さを理解し、仲間を増やしていけばいけないと感じました。さらに今回新規で参加者して下さった方にも継続的な参加を促すために献血の目的や意味を伝えていく必要もあるのだなと感じました。その点を理解して次回以降も参加してみよう！と考えるきっかけ作りは今後の課題になるかと思います。

事業を終えて私自身も青年会議所の献血事業を周りに広げていけるように日頃からしっかり発信をしていけるように尽力していければいいなと感じた例会となりました。

最後に、会員の皆様には暑い中、準備片づけを含めてサポートしていただき本当にありがとうございました。また、事前の準備、計画から委員会を支えてくれた委員メンバーにも誠に感謝しております。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

## 2. 事業実施後のスケジュール

会議数	開催日	委員会及び事業関係活動内容	備考
第 1 回	2024 年 8 月 17 日	事業報告書の添削、内容の精査、改良	委員会
第 2 回	2024 年 8 月 20 日	審議上程	第 9 回三役会(審議)
第 3 回	2024 年 8 月 26 日	事業報告書の添削、内容の精査、改良	委員会
第 4 回	2024 年 9 月 12 日	審議上程	第 9 回理事会(審議)

## 3. 議案上程スケジュール

事業報告/決算			
回数	諸会議名	開催日	議事
第 9 回	三役会	2024 年 8 月 20 日	審議
第 9 回	理事会	2024 年 9 月 12 日	審議

## 4. 審議対象資料

1. 7 月例会決算書
2. 領収書綴り

## 5. 審議対象外資料

1. アンケート対外集計結果
2. 7 月例会事業計画書
3. 7 月例会予算書

-以上-

## 事業報告書

ファイル名	6月例会事業報告書 20240723-三 s
事業名	お金の授業
会議体名	まちづくり委員会
副理事長名	渡邊 尚太
委員長名	加藤 大輝
文書作成人	鈴木 瞬

審議	監事会計確認印					
	監事	監事	監事			
	印	印	印			
副理事長確認日	2024	年	8	月	4	日
委員長確認日	2024	年	8	月	4	日
文書作成日	2024	年	8	月	4	日

## 1. 事業結果報告

## ① 実施日時と会場について

実施日	実施時間	会場
2024年6月19日(水)	14:35 ~ 15:25	都留市立都留第二中学校(体育館)

## ② 実施事業内容(実施した事業について簡単に記載して下さい)

中学生向けにお金の授業を開催いたしました。

6月19日(水)に都留市立都留第二中学校にてゆうちょ銀行さんの平林先生をお迎えして次世代を担う子どもたちが、学校教育を通じてお金の正しい知識を身に付けることができるよう1時間の授業の枠をいただきお金の事業を行いました。

## 【内容】

- ・お金と社会—値段の決め方—値段の決め方、銀行の役割、税金の知識
- ・中学生でも巻き込まれるお金のトラブル
- ・見えないお金とも付き合い方
- ・ライフイベントに必要な資金と準備方法—貯金、資産運用、ローン

## ③ KPI 達成率

KPI 設定内容	KPI 達成率
・参加した子どもから将来への勉強になったとの返答、80%を目指します。	94.7%

## ④ 動員推進結果(目的達成度は小数点第1位まで)

対象者/対象団体	動員目標人数	動員実績人数	目標達成率
一般参加者(生徒)	96 名	91 名	94.7 %
一般参加者(先生)	20 名	11 名	55.0 %
一般社団法人 都留青年会議所 正会員	28 名	12 名	42.8 %
一般社団法人 都留青年会議所 監事会員	3 名	0 名	00.0 %
オブザーバー	2 名	0 名	00.0 %
合計	149 名	114 名	76.5 %

## ⑤ 事業計画収支決算書

予算総額	決算総額
190,000 円	188,000 円

## ⑥ 事業目的に対する結果について(目的達成度を簡潔に記入して下さい。)

## 【対外】

目的…お金の価値や大切さを学んでいただき人生設計を造る際の一助にさせていただく

結果…アンケートの集計結果では多くの方にお金の大切さ、将来に向けて勉強になったと声をいただきました。十分に目

的は達成されたと思います。

**【対内】**

目的…子どもと共に学び将来に役立てていただく。

結果…もう少し踏み込んだ授業内容にしたかった思いはあります。参加していただいた正会員の方も共に学び将来に役立った例会になったと思います。

**⑦事業実施上の振り返り**

**■良かったこと(箇条書きで記入して下さい。)**

- ・授業計画を行う前からスムーズに進行することができました。
- ・学校の授業では踏み切れない内容です。都留青年会議所が先頭に立って行えたことは今後の青年会議所の活動も前向きにでき、いろいろな事に遂行できる形を作ることができました。
- ・生徒はもちろんですが多くの先生方も参加していただきました。
- ・普段は勉強することのない授業内容でしたが生徒さんたちも進んで授業に参加していただきました。明るく、楽しい授業になりました。

**■課題(箇条書きで記入して下さい。)**

- ・事前の準備段階でもう少し学校側と密な打ち合わせをして授業の時間をもう少し長い時間をいただけるよう交渉すればよかったです。
- ・授業の時間が少し押してしまいました。
- ・学校側と細かいタイムスケジュールの共有が出来ていなかった為、当日の流れが悪く授業開始の時間が遅れてしまいました。
- ・事前準備の段階で授業内容を詰めて余裕を持った内容にすればよかったです。

**■事業の実施による地域への影響や今後の展望(会員拡大を含む)**

青年会議所での様々な事業を展開し発信していくことで地域に青年会議所の活動が認知されていきます。また本事業で学んだことを今後の人生に役立てていただけたら幸いです。

**⑧次年度への引継ぎ事項(箇条書きで記入して下さい。)**

- ・他団体と協力して行う事業は早い段階から細かいところまで協議を行ってください。
- ・授業の経過時間の知らせを後方からブラカード等で進行している講師の先生に伝える方法を考えて行うべきでした。
- ・学校側と講師の先生と協議してどのように進行すべきか当日の流れを事前に詰めておくべきでした。
- ・前もって講師の先生と打ち合わせを何度もしてきましたが任せきりにしないで時間の調節、講義内容の余裕を持った内容に調整すべきでした。

**⑨副委員長所見**

6月例会お金の授業を都留第二中学校の3年生向けに開催させていただきました。まずは無事に開催し終えることができました。事前準備から当日の参加をしていただきましてありがとうございました。今回開催させていただきました例会は、5年前に青年会議所に所属した初年度から行いたかった例会になります。コロナウィルスの影響で諦めていた例会でしたが最後の年にチャンスが巡ってきまして開催にこじつけました。

6月に開催ということで教育委員会・学校側とは新学期を迎える前から準備に入りました。中学校との合同例会は青年会議所初となります。次年度からもっとたくさんの他団体を巻き込んで、たくさんの事業を構築していきましょう。僕自身も青年会議所活動で最後の例会になりましたが楽しく準備することができ、当日も無事に終えることができ、いい例会となりました。

最後に、会員の皆様に多大なるご協力をいただき無事開催することができましたこと、心より感謝申し上げます。

**2.事業実施後のスケジュール**

会議数	開催日	委員会及び事業関係活動内容	備考
第 1 回	2024 年 7 月 8 日	事業報告書の添削、内容の精査、改良	委員会
第 2 回	2024 年 7 月 12 日	事業報告書の添削、内容の精査、改良	委員会
第 3 回	2024 年 7 月 23 日	審議上程	第 8 回三役会(審議)

第 4 回	2024 年 7 月 30 日	事業報告書の添削、内容の精査、改良	委員会
第 5 回	2024 年 8 月 8 日	審議上程	第 8 回理事会(審議)

### 3. 議案上程スケジュール

事業報告/決算			
回数	諸会議名	開催日	議 事
第 8 回	三役会	2024 年 7 月 23 日	審議
第 8 回	理事会	2024 年 8 月 8 日	審議

### 4. 審議対象資料

1. 6 月例会決算書
2. 領収書綴り

### 5. 審議対象外資料

1. アンケート対外集計結果
2. アンケート対内集計結果
3. 6 月例会事業計画書
4. 6 月例会予算書

-以上-

## 2025年度 一般社団法人 都留青年会議所 補正収支予算書(案)

自2025年1月1日 ~ 至2025年12月31日

(収入の部)		2025年度	2025年度	2024年度	差異	摘 要
大科目	中科目	3月補正予算	当初予算	決算		
会費収入	会費	1,520,000	1,520,000	2,080,000	0	80,000 × 19 名 休会者 30,000 × 0 名
	入会金	0	0	40,000	0	10,000 × 0 名
	新入会員会費	0	0	260,000	0	80,000 × 0 名 50,000 × 0 名 20,000 × 0 名
	特別会員会費	90,000	90,000	40,000	0	2024年度卒業生 計9名 10,000 × 9 名
	賛助会員会費	450,000	480,000	450,000	▲ 30,000	10,000 × 45 口 (法人44社、個人1名)
	計	2,060,000	2,090,000	2,870,000	▲ 30,000	
補助金収入	補助金	0	0	0	0	
事業収入	登録料収入	0	0	0	0	
	負担金収入	0	0	0	0	
	寄付金収入	0	0	39,172	0	
	助成金収入	0	0	0	0	
	雑収入	0	0	0	0	
	計	0	0	39,172	0	
雑収入	受取利息	0	0	11	0	
	受取配当	0	0	0	0	
	雑収入	0	0	0	0	
	計	0	0	11	0	
その他収入	事務委託金	50,000	50,000	50,000	0	都留青年会議所シニアクラブより
	預り金収入	20,000	20,000	0	0	2025年度山梨ブロック会員名簿 10 冊 × 2,000
	借入金収入	0	0	80,000	0	
	計	70,000	70,000	130,000	0	
当期収入合計(A)		2,130,000	2,160,000	3,039,183	▲ 30,000	
前期繰越収支差額		695,474	0	495,286	695,474	
収入合計(B)		2,825,474	2,160,000	3,534,469	665,474	

(支出の部)		2025年度	2025年度	2024年度	差異	摘 要		
大科目	中科目	3月補正予算	当初予算	決算				
事業費		1,072,000	562,000	1,276,194	510,000	地方創生委員会 320,000		
						青少年育成委員会 382,000		
						会員拡大委員会 160,000		
						総務委員会 210,000		
会議費		30,000	50,000	20,000	▲ 20,000	スローガン横幕、賛助会員一覧表 30,000		
運営費	負担金	486,430	484,430	652,086	2,000	JCI会費(\$13) 19 名 × 2,145 40,755		
						日本JC附加金 19 名 × 5,000 95,000		
						日本JC附加金(後期) 0 名 × 2,500 0		
						日本JC基本金 30,000		
						地区協附加金 19 名 × 1,000 19,000		
						地区協基本金 10,000		
						ブロック協附加金 19 名 × 3,500 66,500		
						ブロック協基本金 50,000		
						国際協力金 19 名 × 5 × 365 日 34,675		
						未来の青年会議所を創る協力金 19 名 × 1,500 28,500		
						日本JC出向者負担金 0 名 × 20,000 0		
						わんぱく相撲全国大会オリエンテーション登録料 12,000		
						ヘンダーソンビル友好委員会 10,000		
						南都留地域教育推進連絡協議会 5,000		
						日本JC京都会議登録料 8,000		
						ブロック大会登録料 19 名 × 3,000 57,000		
						負担金予備費 20,000		
		管理費	通信・発送費	150,000	150,000	126,658	0	通信費(電話、FAX等) 130,000 通信費(郵送料等) 20,000
			消耗品費	140,000	140,000	105,638	0	複合機パフォーマンスチャージ、その他
リース料	0		0	0	0			
インフォメーション関係費	8,486		8,486	3,168	0	レンタルサーバー、ドメイン更新代		
業務委託費	131,890		131,890	131,890	0	安留司法書士 31,000円、 志村会計事務所 99,790円		
保険料	63,790		83,210	63,790	▲ 19,420	企業総合保険 50,190 賠償 13,600		
水道光熱費	100,000		100,000	78,179	0			
雑費	50,000		50,000	16,890	0	新年祈願費、振込手数料、わんぱく相撲全国大会登録料及び旅費、その他		
租税公課	54,310		54,310	54,310	0	固定資産税+県民法人税+業務委託費源泉徴収税 54,310		
印刷費	3,000		3,000	0	0	2025年度基本資料ほか 3,000		
購読費	28,500		28,500	78,000	0	WE BELIEVE ( 19 + 0 ) × 1,500 28,500		
基金	50,000		20,000	50,000	30,000	周年事業基金 50,000		
修繕積立金	149,745		20,000	182,192	129,745	修繕積立金+リコー複合機代129,745円 179,745		
渉外費	50,000		50,000	0	0	慶弔費、成人式花代、卒業記念品(4人)、その他 50,000		
災害対策費	191,680		191,680	0	0			
計	1,171,401		1,031,076	890,715	140,325			
預り金支出		20,000	20,000	0	0	2025年度山梨ブロック会員名簿 10 冊 × 2,000 20,000		
その他の支出		0	0	0	0			
予備費		45,643	12,494	0	33,149			
当期支出合計(C)		2,825,474	2,160,000	2,838,995	665,474			

当期収支差額(A)－(C)	▲ 695,474	0	200,188	695,474	
次期繰越収支差額(B)－(C)	0	0	695,474	0	



# 2025年度 年間事業計画書/予算書

提出日:2025年2月13日

委員会名 地域創生委員会

副理事長名:鈴木 智也  
委員長名:黒澤 駿

## 1. 基本方針

地域の連携を促進し、「まちづくり」のために主体的に動く人材の育成を目指す。

## 2. 年間事業計画

事業名	事業内容	実施年月日
6月例会	「まちづくり」についての実践的な学びを得ることができる共同事業を実施	2025年6月19日(木)
9月例会	多世代の人とつながり、まちの良さを個々が主体的に発信できる事業の実施	2024年9月18日(木)
議事録の作成	理事会の議事録の作成	3月、7月、10月
会員拡大	事業を通じた会員拡大の実施	通年

## 3. 事業予算

収入の部	
事業費繰入収入	320,000円
合計	320,000円

支出の部	
6月例会	120,000円
9月例会	200,000円
合計	320,000円



# 2025年度 年間事業計画書/予算書(案)

提出日:2025 年 2 月 13 日

委員会名 青少年育成委員会

副理事長名:織田 正弘

委員長名:植松 龍太郎

## 1. 基本方針

運動をきっかけに自信を持ってもらい様々なことにチャレンジできる人材の育成を目指す。

## 2. 年間事業計画

事業名	事業内容	実施年月日
5月例会 (公益目的支出対象事業)	風の子興譲館第34回わんぱく相撲つる場所の実施	2025年5月15日(木)
10月例会 (公益目的支出対象事業)	体を動かすことで自己肯定感が上がり新しいことにチャレンジするきっかけとなる例会の実施	2025年10月17日(木)
議事録の作成	理事会の議事録の作成	3月、7月、11月
会員拡大	事業を通じた会員拡大の実施	通年

## 3. 事業予算

収入の部	
事業費繰入収入	382,000 円
合計	382,000 円

支出の部	
5月例会 (公益目的支出対象事業)	192,000 円
10月例会 (公益目的支出対象事業)	190,000 円
合計	382,000 円



# 2025年度 年間事業計画書/予算書(案)

提出日:2025年2月13日

委員会名 会員拡大委員会

副理事長名:長沼 慎太郎  
委員長名:中野 薫

## 1. 基本方針

活動を多くの人に知ってもらいフレッシュな団体を作っていく

## 2. 年間事業計画

事業名	事業内容	実施年月日
4月例会	4LOM 合同例会の開催(主管 LOM 都留 JCI)	2024年4月17日(木)
8月例会	青年会議所の活動を知ってもらう例会の実施	2024年8月15日(木)
議事録の作成	理事会の議事録の作成	4月、8月、12月
新入会員オリエンテーション	新入会員オリエンテーションの実施	通年
会員拡大	事業を通じた会員拡大の実施	通年

## 3. 事業予算

収入の部	
事業費繰入収入	160,000円
合計	160,000円

支出の部	
4月例会	10,000円
8月例会	150,000円
合計	160,000円



## 2025年度 年間事業計画書/予算書(案)

提出日:2025年2月13日

委員会名

総務委員会

専務理事名:渡邊 尚太  
委員長名:加藤 大輝

## 1. 基本方針

会員に積極的に声をかけ、参加を促進する組織運営を目指す。

## 2. 年間事業計画

事業名	事業内容	実施年月日
理事登記	理事登記の実施	2025年1月
総会	定時総会及び臨時総会の開催	定時総会: 2025年1月31日(金) 2025年12月7日(日) 臨時総会:必要に応じて
理事長選挙	理事長選挙管理委員会の設置	2025年5月9日(木)
7月例会 (公益目的支出対象事業)	献血事業の実施	2025年7月17日(木)
12月例会	卒業証書授与式の実施	2025年12月7日(日)
3分間スピーチ	3分間スピーチの実施	総会、例会、理事会時
議事録研修	議事録研修の実施	理事会、総会
議事録の作成	理事会、総会の議事録の作成	理事会1月、5月、9月 総会
理事会	理事会の開催	通年
事務	他の委員会に属さない事務処理・資料の管理	通年
災害対策	災害発生時の対応	通年
会館の管理	当会議所会館の管理や備品管理	通年
財務管理	LOMの財務管理	通年
活動記録	1年間の活動の記録	通年
Webサイトの管理	Webサイトによる広報活動の実施	通年
渉外	他の青年会議所及び他団体への窓口対応	通年
賛助会員への対応	賛助会員の募集・運営管理・事務処理の窓口対応	通年
会員拡大	事業を通じた会員拡大の実施	通年

## 3. 事業予算

収入の部	
事業費繰入収入	210,000円
合計	210,000円

支出の部	
7月例会 (公益目的支出対象事業)	10,000円
12月例会	200,000円
3分間スピーチ	0円
議事録研修	0円
合計	210,000円